

令和4年度 施策評価シート

○令和4年度各指標の評価結果

S	3
A	0
B	0
C	3
D	4
E	11

基本目標	基本施策	指標	R4評価	ページ	
1. 移住地域をつくり、安心して働けるようにする	(1)産業をつくり、育てる (2)もっと訪れたいまちになる (3)安心して働ける	起業件数	S	p4	
		観光入込客数	E		
		生産年齢人口(15歳-64歳)の一人当たりの平均所得金額の伸び額	C		
2. 地域への新しいひとの流れをつくる	(4)もっと訪れたいまちになる	社会動態	E		
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(5)安心して子どもを育てられる	出生数	E		
		合計特殊出生率	E		
		理想とする子ども数と実際に持つつもりの子どもの数の差	E		
		子育て環境が良いと感じている子育て中の市民の割合	E		
4. ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる					
4-1. 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実	(6)美しく使いやすいまちをつくる (7)行きたいところへ行ける (8)モノや情報が容易に得られる (9)暮らしに豊かさが感じられる	特定空家解消率	D		p5
		公共交通機関の利用客数	E		
		スポーツ施設の利用者数	E		
4-2. 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成	(10)豊かな自然を守り、活かす (11)独自の歴史・文化を守り、活かす	市内民有林間伐等整備面積	D		
		協定農用地面積	E		
		中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数	E		

4-3. 安心して暮らすことができるまちづくり	(12) 安心して日々を暮らせる (13) 健康な体を維持できる (14) 犯罪や事故から身を守る (15) 災害から生活を守る	健康寿命	S	p6
		平均寿命と健康寿命の差	S	
5. 多様な人材の活躍を推進する	(16) 誰もが学び続けられる (17) 市民サービスを向上させる (18) 地域コミュニティを守り、活かす (19) まちの担い手が育ち、つながる	学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)	D	p6
		ふるさと納税件数	C	
		大学生がまちづくり活動に携わった回数(協定締結大学)	E	
6. 新しい時代の流れを力にする	(20) 資源を活かし、まちを潤す (21) リニア新幹線開通を活かす	観光消費額	C	p7
		リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率	D	

施策評価シート評価方法

①評価の基準

令和7年度の最終目標の進捗率を計るため、最終目標への達成率を基準に設定

S	100%達成
A	Sに満たないが指標が80%達成
B	Aに満たないが指標が60%達成
C	Bに満たないが指標が40%達成
D	Cに満たないが指標が20%達成
E	指標が20%未満

②評価の水準

令和4年度は第2年度となるため、「C」40%の達成を目指す

令和3年度	1/5年目となるため「D」20%達成を目指す
令和4年度	2/5年目となるため「C」40%達成を目指す
令和5年度	3/5年目となるため「B」60%達成を目指す
令和6年度	4/5年目となるため「A」80%達成を目指す
令和7年度	5/5年目となるため「S」100%達成を目指す

③達成率の表記

達成率の算定式は、 $(\text{実績値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値})$

0%から100%を表記する

④総合評価の方法

目標指標中、最低ランクを総合評価のランクとする

※総合評価は各目標指標の平均ではなく、目標指標に紐づく事業の更なる推進を図るため、目標指標中の最低ランクを設定。

基本目標	1 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする									
基本施策	(1)産業をつくり、育てる(総合計画基本施策[15]) (2)もっと訪れたいまちになる(同[16]) (3)安心して働ける(同[2])									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
起業件数(単位:件・単年)		11	結果	14	24				11	S
			達成率	100.00%	100.00%					
観光入込客数(単位:万人・単年)		415	結果	272	334				450	E
			達成率	0.00%	0.00%					
生産年齢人口(15歳-64歳)の一人当たりの平均所得金額の伸び額(単位:千円・単年)		40	結果	229	114				200	C
			達成率	100.00%	46.25%					
総合評価	評価の内容									
E	<p>「起業件数」では、令和4年度中に24件の起業があり目標を達成した。引き続き商工会議所や商工課などの関係機関と連携し、企業しやすい環境の整備を図る。</p> <p>「観光入込客数」では、初年度より増加したものの長引くコロナの影響により目標の達成は出来なかった。コロナの5類へ移行したことからR5年度はWRCや恵那泊キャンペーン、食に関するイベントを実施し観光客の回復、増加を図る。</p> <p>「生産年齢人口(15歳-64歳)の一人当たりの平均所得金額の伸び額」では、初年度より減少したものの、生産年齢人口全体で基準年比約10億円の所得の伸びがあり、令和4年度の目標値を上回った。</p>									

基本目標	2 地域への新しいひとの流れをつくる									
基本施策	(4)もっと住みたいまちになる(同[14])									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
社会動態(単位:人・単年)		△88	結果	-206	-225				△30	E
			達成率	0.00%	0.00%					
総合評価	評価の内容									
E	<p>岐阜県人口動態統計調査の調査期間である令和3年10月から令和10年9月の間に、転入1,358人に対し転出1,583人となり225人減少したため、第2年度の目標値には達しなかった。目標達成のため、新たな働く場所の確保や学習の場を整備等の取り組みを実施し、若者の転出を抑制するとともに、恵那市の魅力の効果的な発信を行い移住者の増加を図る必要がある。</p>									

基本目標	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
基本施策	(5)安心して子どもを育てられる(同[1])									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
出生数(単位:人・単年)		305	結果	228	226				320	E
			達成率	0.00%	0.00%					
合計特殊出生率(単年)		1.56	結果	1.39	1.42				1.70	E
			達成率	0.00%	0.00%					
理想とする子ども数と実際に持つつもの子ども数の差(単位:人・単年)		0.6	結果	0.49	0.56				調査ごとに縮小	E
			達成率	100.00%	0.00%					
子育て環境が良いと感じている子育て中の市民の割合(単位:%)		29.7	結果	24.7	27.1				調査ごとに上昇	E
			達成率	0.00%	0.00%					
総合評価	評価の内容									
E	<p>「出生数」では、岐阜県人口動態統計調査の調査期間である令和3年10月から令和4年9月の間に226人の子どもが生まれたが、第2年度の目標水準に達しなかった。安心して子どもを産み育ててもらいたため、新たな子育て支援の実施と子育て支援策のPRの強化を図る。</p> <p>「合計特殊出生率」では、全国平均1.33及び初年度を上回ったものの目標水準には達していない。上段の指標と同様に、子育て支援の充実とPR、ワークライフバランスの推進を図る必要がある。</p> <p>「理想とする子ども数と実際に持つつもの子ども数の差」では、理想2.38人、実際1.82人と0.56人の差となり基準値を下回ったものの、初年度から増加したため未達成。令和5年度には、国の次元の異なる少子化対策や市の子育て支援の充実を図り、安心して子どもを育てられる環境を充実する必要がある。</p> <p>「子育て環境が良いと感じている子育て中の市民の割合」では、令和4年度市民意識調査において初年度を上回ったものの基準値29.7%を下回る27.1%であったため目標が達成できなかった。目標達成のためには上段の指標と同様な取り組みが必要となる。</p>									

基本目標	4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる									
小目標	4-1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実									
基本施策	(6)美しく使いやすいまちをつくる(同[9]) (7)行きたいところへ行ける(同[10]) (8)モノや情報が容易に得られる(同[11]) (9)暮らしに豊かさが感じられる(同[13])									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
特定空家解消率(単位:%)		50.0	結果	71.4	64.3				92.3	D
			達成率	50.59%	33.80%					
公共交通機関の利用客数(単位:人・単年)		761,490	結果	479,099	454,695				800,000	E
			達成率	0.00%	0.00%					
スポーツ施設の利用者数(単位:人・単年)		360,738	結果	230,984	299,379				363,000	E
			達成率	0.00%	0.00%					
総合評価	評価の内容									
E	<p>「特定空家解消率」では、28件中18件(R4は3件)を解消したが、第2年度の達成水準に達しなかった。法改正に伴う制度の見直しと周知を行う必要がある。</p> <p>「公共交通機関の年間利用者数」では、コロナの影響もあり昨年と同様に利用が低下した。これまで、まちなか巡回バスの運行や交通コンシェルジュ事業、バス路線の見直しなどを行ってきたが、今後は目標達成に向け特に高齢者が安心して利用できる移動サービスを整えていく必要がある。</p> <p>「スポーツ施設の利用者数」では、初年度より改善はあったもののコロナの影響により施設利用者は伸びず目標水準は達成できなかった。オンライン予約の導入によるサービスの向上と、運動やスポーツを通じた健康づくり、子どもの健全育成のため、各種スポーツ教室・イベントの開催を支援することで、体を動かすことの習慣付けを行い利用者の増加を図る。</p>									

基本目標	4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる									
小目標	4-2 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成									
基本施策	(10)豊かな自然を守り、活かす(同[7]) (11)独自の歴史・文化を守り、活かす(同[8])									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
市内民有林間伐等整備面積(単位:ha・累計)		593	結果	1,791	2,385				5,400	D
			達成率	24.92%	37.27%					
協定農用地面積(単位:ha・単年)		1,328	結果	1,323	1,318				1,401	E
			達成率	0.00%	0.00%					
中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数(単位:人・単年)		78,801	結果	19,509	29,323				96,000	E
			達成率	0.00%	0.00%					
総合評価	評価の内容									
E	<p>「市内民有林間伐等整備面積」では、R4年度594haの整備を実施したが第2年度の達成水準に達することはできなかった。今後は目標達成のため、作業道が整備されていない山林の間伐に対する対策が必要となる。</p> <p>「協定農用地面積」では、第2年度の目標に達していないため、地元団体の高齢化等の課題はあるが地域活動継続を引き続き支え、地域の営農組織を育て協定面積の増加に努める必要がある。</p> <p>「中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数」においては、初年度より改善は見られたもののコロナの影響により目標水準には達しなかった。今後は企画展の回数を増やすとともに、インバウンドの取り込みを図り入館者数の増加を目指す。</p>									

基本目標	4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる									
小目標	4-3 安心して暮らすことができるまちづくり									
基本施策	(12)安心して日々を暮らせる<同[3]> (13)健康な体を維持できる<同[4]> (14)犯罪や事故から身を守る<同[5]> (15)災害から生活を守る<同[6]>									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
健康寿命(単位:歳・単年)		男性79.34 女性84.04	結果	男性81.78 女性87.03	男性81.62 女性86.87				男性79.94 女性84.69	S
			達成率	男性100% 女性100%	男性100% 女性100%					
平均寿命と健康寿命の差(単位:歳・単年)		男性1.46 女性2.84	結果	男性1.26 女性3.09	男性0.75 女性1.38				男性1.36 女性2.69	S
			達成率	男性100% 女性0.00%	男性100% 女性100%					
総合評価	評価の内容									
S	<p>「平均寿命」では、男性・女性とも目標を大きく上回っている。 「平均寿命と健康寿命の差」では、男性健康寿命80.87歳・差0.75歳、女性健康寿命85.49歳・差1.38歳といずれも目標を達成することができた。引き続き健康フェスタ等で健康意識の醸成を図る。</p>									

基本目標	5 多様な人材の活躍を推進する									
基本施策	(16)誰もが学び続けられる<同[12]> (17)市民サービスを向上させる<同[19]> (18)地域コミュニティを守り、活かす<同[20]> (19)まちの担い手が育ち、つながる<同[21]>									
目標指標の推移										
	指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)(単位:人・単年)		0	結果	9	11				40	D
			達成率	22.50%	27.5					
ふるさと納税件数(単位:件・単年)		3,171	結果	10,826	9,281				15,000	C
			達成率	64.71%	51.65%					
大学生がまちづくり活動に携わった回数(協定締結大学)(単位:回・単年)		9	結果	0	0				15	E
			達成率	0.00%	0.00%					
総合評価	評価の内容									
E	<p>「学んで生かす人(生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人)」では、初年度より上昇したものの、第2年度の目標水準の達成はできなかった。目標達成のため入り口の講座の魅力を高め、継続して受講してもらえる環境を整える必要がある。 「ふるさと納税件数」では、初年度より減少したものの9,281件159,677千円の納税があり、第2年度の目標水準の達成ができた。今後は目標達成のため、登録事業者の増と商品の充実を図るとともに、ふるさと納税専用ポータルサイトを追加し、寄附ができる窓口を広げる。 「大学生がまちづくり活動に携わった回数(協定締結大学)」では、コロナの影響で活動が停滞し基準値を下回る結果となった。コロナ後のまちづくりを見据え、積極的に大学生との関わりの場を設けるとともに、新たな協定締結大学を増やす必要がある。</p>									

基本目標	6 新しい時代の流れを力にする								
基本施策	(20)資源を活かし、まちを潤す<同[17]> (21)リニア新幹線開通を活かす<同[18]>								
目標指標の推移									
指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	評価
観光消費額(単位:億円・単年)	87	結果	81	93				100	C
		達成率	0.00%	46.15%					
リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率(単位:%)	0.0	結果	0.00→ 13.9	24.7				65.0	D
		達成率	0.00→ 21.38%	38.00%					
総合評価	評価の内容								
D	<p>「観光消費額」では、2022WRC、全国山城サミット恵那大会の開催やアウトドアブームを背景とした来訪者の増加等により第2年度の水準を達成することができた。引き続き地域資源を活かした誘客に取り組む。</p> <p>「リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率」では目標水準を達成できていない。目標達成のため関係機関と連携し、着実にリニアまちづくり基盤整備計画に基づいた事業を進め、令和7年度までに計画的に整備を行う。</p>								